

江教組ニュース 2016 No. 3

都教組江戸川支部
TEL 3651-3153
FAX 3655-3521

「押しつけ事業」で多忙を極める職場の実態が明白に!

5.11第70回江教組大会、 代議員84名(73%)の参加

組合への期待と確信を深める大会となりました。



私は都教組青年部で副部長を務めています。昨年度、全都の青年教職員を対象に長時間勤務についてのアンケートをとりました。

アンケートの結果から、青年が抱えている勤務実態が見えてきました。

個人の所感を尋ねる項目で、五段階で答える項目の内、4の「そう思う」5の「強くそう思う」を選んだ人の割合です。仕事が多すぎると感じた人の割合は54.7%、仕事に追われて心にゆとりがないと感じている人41.7%、仕事のために体調が優れないとかんじている27.1%、今の仕事を続けていけるか不安に感じる35.6%となっています。

月平均の時間外労働時間は三四%の人が81時間を超えています。100時間をこえる人も6%程いました。この長時間勤務に対してあげられる改善策として最も多かったのが「教育委員会のアンケートを減らすこと」でした。

江戸川の青年のアンケート結果のみを取り出してデータ化しましたが、今挙げた都のデータとほとんど大きな差はありません。

この長時間勤務の実態を改善するために、様々な教育委員会からのアンケート等の削減に加え、30人学級の実現、教職員定数増への強い願いがこの青年アンケートから読み取ることができました。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

各種「学力テスト」の強要!
さらに、追い打ちをかける区の新規事業!
本質を失う「学校教育」



9名の代議員から発言があり、その後、地区交流を行いました。子ども不在の押しつけ事業が次々、押し寄せ、教職員の多忙化と「教育」の劣化が深刻になっている職場の状況が明らかになりました。

統括指導主事を8年やってきた校長先生は4月にいきなり「全国学力テストは結果が返ってくるのが遅いので、校内で採点、分析して、授業に生かしてください。」と言いました。全国学力テストを受ける中3の生徒は、前の年の二月に区独自のチャレンジ問題を受け、七月には都の学力テストも受けています。その採点分析も校内でやらされました。生徒も教員も「また、やる

のとうんざりしています。どうせ、成績に入らないでしょ」とテストの後半は寝る生徒が続出。この意味不明のテストを繰り返す意図は何なのでしょう。私たちは採点やデータ入力に追われ、教材研究、授業の準備をする時間が十分ありません。生徒や職場の先生と話す時間もとれ

ません。

さらに追い打ちをかけるのが区の新規事業です。学力や意欲をそくようなテストをしておいて、その結果が低くから補習をやれ、ベーシックドリルをやらせろ、家庭学習キャンペーン、オリパラ教育、家庭ルールづくりと、次から次へと押しつけ教育が降ってきます。

私たちはこんなテストをしなくても、日々の授業で子どもたちの学力の実態はつかめます。子どもたちに劣等感やストレスを与えるだけの学力テストは不要です。本来、学ぶことは楽しいものです。子どもたちの「わかった!」という笑顔をみることは私たちの大きな喜びです。私たちの教育力をつけるためにも、自由学習時間が必要です。組合に結果し、みんなで国や都の学力テスト、区の押しつけ事業に反対しましょ。

M 二中K 代議員

「教育」の研究・研修が十分にできない学校現場に混迷はひろがる。全国の学校現場に蔓延する「ゼロトレランス」



多忙化する学校ほどこう
したマニュアル化した指
導方法が採用される。

大阪市「学校安心ルール」 の概要

	学習の時に	他の子・教師に	社会のルール	学校等が行なう措置
Level 1	ずる休みをする 授業に遅れる	からかう、ひやかす いやがることを言う	前席に座るきをする 学校施設にいたずらをする	別室での個別指導 専任活動
Level 2	授業をじゃまする 授業をさぼり たむろする	こわがるようなことを したり言う 悪口、かけこを言う	学校の物をこわす 少額の贈り物をする 悪口に印刷をする	個別指導、家庭連絡 個別指導の専任活動
Level 3	授業中に大声を出す 悪言をかける、暴れる テストのじやまをする	おどすようなことを言う 押す、突き飛ばす	大規模な器物破壊 窃盗行為	警察に相談し、関係機関 (少年サポートセンターなど) と連携した指導
Level 4		殴る、蹴るなどの 強い暴力をふるう、 ケガをさせる	万引き、飲酒、喫煙 無免許運転 違法薬物の所持	出席停止措置、個別指導専任 警察に連絡し、関係機関と 連携した指導
Level 5		極めて強い暴力 傷害行為	放火 銃所持いせつ	警察、子ども相談センター 児童自立支援施設等における対応

生徒指導のマニュアル化は、
子ども事情を勘案しない。
ゼロトレランスは、規則違反
に理由を問うことなく厳罰
を科す。「社会の秩序や、学
校を乱すものは切り捨てて
いくところ」。(厳罰化は)
見せしめであって教育とは
言えない。教師がマニュアル
化に疑問を持たず、葛藤もし
ない思考停止に陥ってい
る。」と批判する教師もいる。

このような悲惨な状況に学校を追い込まないた
めに、ともに学び、学校づくりのビジョンを再
確認しましょう。



怒鳴り声や鳴き声
ゼロトレランスは小学校にも広がって
いる。ある学校では「最初が肝心だ。な
められてはダメ。引き締めていこう」が
教師間の合い言葉になり低学年から厳し
い指導が行われる。教師の怒鳴り声や、
児童の泣き声が隣の教室から聞こえる。
ベテランの教師から「おまえは甘い。も
っと厳しくやれ」と児
童の前で責められ涙
する若い教師もいる。
厳しい指導を繰り返
すうちに、児童は教師

の要求を察知し、思い通りに動く
ようになる。秩序の内面化だ。校
長は規範意識を植え付ける教師
を「力量ある教師」と評価する。
指導方法に疑問を感じても職場
の同調圧力が強くてものが言え
る状況にない。(以上3/18週
間金曜日より抜粋)

一人残らず学びに参加する授業・教室、そして学校をつくりませんか！
それは、私たちの創意と工夫次第。一緒に研究しましょう！



江戸川 学び合う学びの会第17回学習会

<今回は講演会とあります。>

小学校における「学び合い」

講師：永島 孝嗣先生(麻布教育研究所)

☆日時 2016年6月7日(火)午後6時30分

☆会場 船堀タワーホール306号室

参加費300円をお断りします。

前半は主に「学び合う学び」いわゆる協働学習がなぜ必要なのかを説明し、後半は実践例を通して「学び合う学び」とはどういうものかを説明しています。p141。「学びは、教師が示す課題の魅力と協働的な学びによって実現します。」こう述べているように、簡単にできるものではなく、教師にも「覚悟」が必要であることを主張しています。石井先生の気持ちなどを考慮するとともに必死な気持ちが伝わり泣きそうになりました。どんな内容か、ぜひ読んでみてください。(アマゾンのレビュー)



まだ、お読みが
なかつたら
ぜひ参考に
お読みください。



「すべての子どもの学びを保障する
「学びの共同体」の実践は、協働的に
探求する学びを創り出し、教師の同僚
性を築き上げてきました。同僚性を種
に授業を専門とする教師たちは、子
どもたちに学ぶ意味を捉えさせ、学ぶ
魅力に気づかせ、学ぶ意欲を生み出
し、子どもを変え、学校を変えてきま
した。」
(第14回学びの共同体研究大会
開催要項・開催趣意の書簡)
「学びの共同体」の多くの学校でスー
パーバイザーとして活躍されている
永島先生に小学校での学び合いにつ
いて実際にビデオを見せていただき
ながらお話しいただきます。
新指導要領で求められる「アクテ
ィブラーニング」を上手に乗り越える
ためにもぜひ一緒に学びましょう。

・主催 江戸川『学び合う学び』の会 ・後援 都教組江戸川支部 連絡先(3651)3153

政治を変えよう



6.5 国会へ
7.10 投票へ
私たちは、たまたかいつけます！
私たちは、戦争を止めます。沖縄の基地撤去の声を押し止しません。憲法と選挙の改革を止しません。消費税の増税を止しません。一人ひとりの命を大切にしたい。声をあげます。声をあげます。声をあげます。6月5日、全国で私たちは立ち上がり、声を上げます。私たちの未来を切り拓くために！
6.5全国総がかり大行動
市民が力をあわせて参院選に勝利しよう!!

6月5日(日)14:00~15:30

- 国会正門前ステージ
- 農水省・霞が関郵便局ステージ
- 日比谷公園かもめの広場ステージ

〈戦争法廃止!の声で日本を埋め尽くそう!〉

全国各地で同時アクションにとりかんでください。
開演予定は <http://hogakari.com/?p=1834> をご覧ください。
14時30分にはいっせいに「戦争法廃止!」「政治を変えよう!」の声を上げましょう!



「安倍首相は“消費税増税延長”を参議院選で国民の信を問う。」と発言し、相変わらずのペテン師ぶりを発揮しています。もう騙されるわけにはいきません。大挙して国会周辺を埋め尽くしましょう。江教組は日比谷図書館入り口に13:45集合です。